

平成24年度

一般財団法人和歌山環境保全公社事業報告（概要）

1 事業概要

平成24年度の当公社事業としては、大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入業務受託事業、西牟婁郡すさみ町大鎌地内におけるすさみ建設残土処分場運営管理事業、並びに循環型社会形成のための啓発推進事業として、産業廃棄物適正処理推進のための講習会の開催、路線バス（ラッピングバス）を利用した不法投棄防止キャンペーンの実施及び環境展示会「エコプロダクツ2012」への出展を行い、リサイクル製品や環境に関する取組の啓発を行いました。

2 個別事業の概要

（1）大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入業務受託事業

平成24年度の廃棄物の受入量は、116,394トンです。前年度に比べ受入量全体として対前年比83%に減少しました。

また、この業務に関連して、指定搬入ルート確認のための和歌山基地運行監視調査業務も併せて受託し、和歌山市野崎と北島地区において毎月1回の運行監視を実施しました。

<受入量の推移（平成8年度～平成24年度）>

| 年 度 | 受入量（t） | 年 度 | 受入量（t） |
|--------|---------|--------|---------|
| 平成8年度 | 260,680 | 平成17年度 | 178,690 |
| 平成9年度 | 430,159 | 平成18年度 | 218,061 |
| 平成10年度 | 339,069 | 平成19年度 | 212,026 |
| 平成11年度 | 232,853 | 平成20年度 | 234,906 |
| 平成12年度 | 165,566 | 平成21年度 | 157,026 |
| 平成13年度 | 172,745 | 平成22年度 | 193,145 |
| 平成14年度 | 115,227 | 平成23年度 | 139,592 |
| 平成15年度 | 123,943 | 平成24年度 | 116,394 |
| 平成16年度 | 134,560 | | |

（平成24年度一日当たりの受入量：471t）

（2）すさみ建設残土処分場運営管理事業

すさみ建設残土処分場運営管理事業については、近年、受入量が減少傾向にありましたが、平成24年度は、災害復旧工事等の影響で対前年度比165%

と大幅に増加しました。

なお、平成24年度末現在では全体受入予定量（55万8千m³）の約65%（36万5千m³）を受け入れたところです。

＜受入量の推移（平成10年度～平成24年度）＞

| 年 度 | 受入量（t） | 年 度 | 受入量（t） |
|--------|---------|--------|--------|
| 平成10年度 | 54,397 | 平成18年度 | 31,431 |
| 平成11年度 | 130,942 | 平成19年度 | 12,030 |
| 平成12年度 | 54,030 | 平成20年度 | 20,093 |
| 平成13年度 | 82,282 | 平成21年度 | 17,584 |
| 平成14年度 | 66,713 | 平成22年度 | 27,253 |
| 平成15年度 | 39,442 | 平成23年度 | 26,596 |
| 平成16年度 | 29,955 | 平成24年度 | 43,975 |
| 平成17年度 | 20,815 | | |

（平成24年度一日当たりの受入量：170t）

（3）循環型社会形成のための啓発推進事業

産業廃棄物適正処理推進のための講習会については、9月に（一財）日本環境衛生センターより講師を招き、「産業廃棄物を取り巻く行政の動き、改正産業廃棄物処理法の施行状況」をテーマに講習会を開催し、150名の受講者がありました。

また、県との共同事業として、紀北地域を中心にラッピングバスを走らせ、不法投棄防止キャンペーンを実施しました。

さらに、3R推進の一環として県内のリサイクル産業を支援するため、東京ビッグサイトで12月に開催されたの環境展示会「エコプロダクツ2012」への出展を行い、リサイクル製品への支援や環境保護へのPRを実施しました。

（4）一般財団法人への移行

一般社団・財団法人法の施行に伴う一般財団法人への移行については、平成25年3月18日付で県知事より移行が認可され、4月1日付けで移行登記を行いました。